

# へき地・小規模校教育推進講演会

## 少子化・小規模校化時代の学校教員育成政策 —令和の日本型学校教育と教師の養成・採用・研修—

主催 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター  
共催 全国へき地教育研究連盟、北海道へき地・複式教育研究連盟  
後援 文部科学省（予定）、北海道教育委員会（予定）

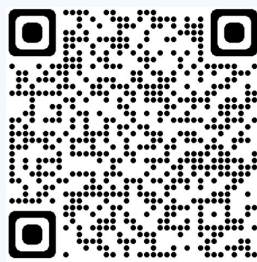
●開催日 令和4年12月9日（金）15:00～16:50

対面及び同時双方向型（Zoom）のハイブリッド  
対面は、北海道教育大学旭川校第1会議室（旭川市北門町9丁目）

●講師

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長 小幡 泰弘 氏

●申込先 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターHP  
URL : [https://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/](https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/)



●申込期限 上記HPの申込フォームによりお申込みください。  
申込期限は、11月30日（水）です。

※ 申し込まれた方には、講演会前日までにオンライン参加のためのZoomのミーティングURLをメールによりお送りします。多くの方のご参加をお待ちしております。



●お問合せ先 北海道教育大学教育研究支援部連携推進課（担当 小林）  
電話：011-778-0942 ファクス 011-778-8376  
E-mail : [crc@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:crc@j.hokkyodai.ac.jp)

## 講演会の趣旨

少子化・人口減少社会に伴う学校規模の縮小化が全国的な課題となっている中、小規模校化に対応した学校教員育成や「令和の日本型学校教育」を担う新しい教師の育成が求められている。そのためには、教師の養成-採用-研修を通じた一体的な教育改革が不可欠である。またへき地・小規模校に赴任する教員は、小規模校の特性を生かした指導が求められている。

へき地・小規模校では、少人数のメリットを生かした個別最適な学び、協働的な学び、地域の素材を生かした地域探究活動、遠隔システムを生かした学び合いなど、「令和の日本型学校教育」に対応した実践が行われている。

本講演会では、文部科学省教育人材政策課小幡泰弘課長をお迎えし、今後一層進展する小規模校化への対応と、「令和の日本型学校教育」を担う高い資質能力を備えた教師の養成・採用・研修の在り方を考えていきたい。また、小規模校化の中でのへき地・小規模校教育の可能性を捉え直し、以て子供たちのより良い未来を育む学校教育の在り方を考える。

## タイムスケジュール

時間	内容
15:00~15:15	①開会
15:15~16:45	②講演会（質疑・応答を含む。）
16:45~16:50	③閉会

## 対面会場へのアクセス

### 交通アクセス

【JR旭川駅から】

- 旭川電気軌道バス「5番旭町・春光線」で15分、バス停「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 旭川電気軌道バス「14番旭町線」で15分、バス停「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 旭川電気軌道バス「24番新橋・北門線」で15分、バス停「北門9丁目」下車、徒歩5分

